

学校図書館だより

令和7年度 vol.6
2025.9.30 (火)
図書担当：浅利 汐南
学校司書：上西 慈子



2学期に入り、生徒会役員選挙、稲穂祭と行事が続きました。稲穂祭準備期間には、毎日それぞれの担当に分かれて活動する様子が図書館の中にも感じられました。がんばっている中学生を、いつも陰ながら応援しています。

10月のテーマ展示は「〇〇歳の本」

暑い夏が終わり過ごしやすい秋になりました。10歳～15歳のみなさんに向けて書かれた、タイトルやシリーズ名に「〇〇歳」を含む本を集めて紹介します。



新しい本が入りました！

新しい本は、購入8冊、寄贈39冊、合計47冊です。まず手に取って、そしてぜひ借りてみてください。今回は、部活関連の雑誌に加えて、教職員弘済会から贈呈されたノンフィクションの本です。本とのよい出会いがありますように。リストは裏面にあります。



読みたい本が見つからない時は、司書に気軽に声をかけてください
PCで探したり、購入の参考にしたり、一緒に考えたりできます

裏面に続く→



新しい本



2025年9月新着図書

47冊

0類＜総記＞ 1類＜哲学・宗教＞

『ハイテク企業のトップは、なぜ、わが子からスマホを遠ざけるのか』 『読んで旅する海外文学』
『ぼくは本のお医者さん』 『君の心を強くする世界のすごい人のことば50』

2類＜歴史・地理＞

『考古学者が発掘調査をしていたら、怖い目にあった話』 『ほっかいどう百年物語』上巻、下巻
『アフリカで、バッグの会社ははじめました』 『Mr. トルネード航空事故を激減させた気象学者藤田哲也』
『あきらめなかった男：大黒屋光太夫の漂流記』 『クジラの骨と僕らの未来』
『カタリン・カリコ物語』 『僕が旅人になった日』

3類＜社会科学＞

『沖縄を愛するうちな～んちゅの夢。』 『みんなで世界を変える！小さな革命のすすめ』
『池上彰の君と考える戦争のない未来』 『ふるさとして呼んでもいいですか』 『命のスケッチブック』
『だれか、ふつうを教えてください！増補新版』 『見えないボクと盲導犬アンジーの目もあてられない日々』
『仰天！世界のアタリマエ』 『アイヌ民族27の昔話』

4類＜自然科学＞ 6類＜産業＞

『福島ゲンゴロウ物語』 『だれよりも速く走る義足の研究』 『タカシ大丈夫な猫』

7類＜芸術・体育＞ 絵本

『意味がわかるとおもしろい！世界のスゴイ絵画』 『絵画をみる、絵画をなおす保存修復の世界』
『パレスチナ 特別増補版』 『14歳からの映画ガイド』 『ザンジバル球児に学ぶ世界を変える方法』
『藤井聡太の名言』 『わるいタネ』 ジョリ・ジョン 『日々臆測』 ヨシタケシンスケ

9類＜文学＞

『世界はもっと美しくなる 奈良少年刑務所詩集』 寮美千子/編 『いつものところで』 中澤晶子
『青春サプリ。 5、10』 『アンナの戦争』 ヘレン・ピーターズ/作
『パフィン島の灯台守』 マイケル・モーパーゴ/作

雑誌

『月刊VOLLEYBALL』 『月刊バスケットボール』 『芸術新潮』 『Newsがわかる』
『サッカーダイジェスト』 『BandJournal』 『週刊ベースボール』 『陸上競技マガジン』

教職員弘済会から本のセットが贈呈されました！

10月中は新着図書コーナーに、
11月中は特別コーナーにまとめて
わかりやすく配置します。

比較的新しい本で、
生徒のみなさんにもおススメです！

